

水産試験場 アユ種苗生産施設整備

種苗生産事業と施設の現状

種苗生産事業

- 「**県魚**」アユは釣り対象として重要な魚種
- 水産試験場は、**県内放流稚魚の約60%を生産**



種苗生産施設の現状

- 稚魚生産施設A棟とプランクトン培養棟の**耐震性なし**
- **建設から44年以上経ち、老朽化**も進行
- 現有施設では県産アユの生産可能量は限定的

アユ稚魚生産施設の状況

施設名	A棟	培養棟	B棟	C棟
建設年度	S 5 5	S 5 6	H 1 0	H 1 7
経過年数	4 5	4 4	2 6	2 0
延べ面積 (㎡)	9 7 5	6 6 2	8 4 4	1,331
Is 値*	0.6 未満	0.6 未満	未計測	未計測

※ $0.3 \leq I_s < 0.6$... **倒壊または崩壊**する危険性がある

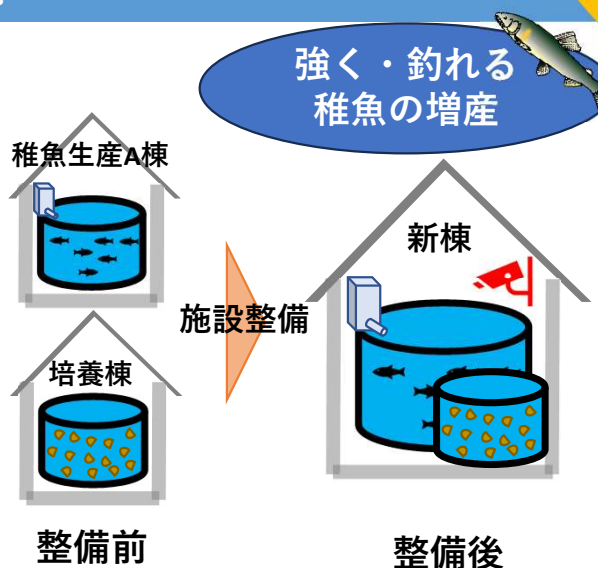


解決を図る課題と事業の内容・実施体制

病気に強く、釣れるアユの作出と増産

耐震、老朽化対策

稚魚生産A棟と培養棟を施設整備



事業の効果 (アウトカム指標)

「**群馬のアユ**」を将来にわたり安定供給

- 安全・効率的な施設で高品質アユを増産
- アユ育種技術開発の加速化と試験研究の推進

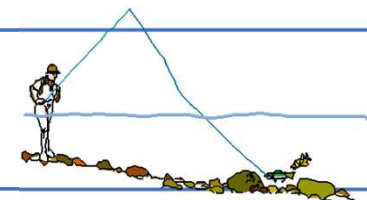
県産アユ放流稚魚の比率100%を達成

冷水病に強く、良く釣れる稚魚供給

釣り人数の増加 (1 - 2)

水産試験場 整備の目的・効果

①冷水病に強く・良く釣れるアユの作出 + ②アユ種苗生産施設整備
相乗効果 ⇒ 県産アユ放流稚魚のシェア 100%へ

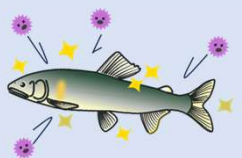


①冷水病に強く・良く釣れるアユの作出 (R7-12)

- 現状：冷水病の影響によりアユ漁獲量は減少
- 課題：冷水病に強く・良く釣れるアユの作出
- 対応策

冷水病人為感染による選抜
⇒ 冷水病耐性

強い



×

なわばり*試験による選抜
⇒ 高攻撃性

釣れる



国内初の技術開発！ 病気に強く、良く釣れるアユ

漁獲量UP & 釣り満足度UPを両立！

②施設整備 (R8-13) ⇒ ① + ② = 増産 (R14以降)

■ アユ種苗生産施設整備 (R8-13)

- 稚魚生産施設と培養棟の新設統合建替え工事

⇒ 効率的で安定した稚魚供給体制の構築！ ∞

⇒ 高品質な稚魚の生産性 UP ↗

⇒ アユ育種技術開発の加速化！ >>>

■ ①と②の相乗効果によるアユ生産量の増加 (R14以降)

- 品質向上と安定供給による
県産アユ放流稚魚のシェア 100%！



県産アユ放流稚魚の比率

*アユはなわばりを守るため、他のアユが近づくと攻撃する。この習性を利用したのが日本独自の釣り方の「アユ友釣り」である。

アユ種苗生産施設整備 施設概要図

※場内の別の敷地に
施設を整備する

- ・A棟・培養棟などを解体
- ・跡地に野外飼育池を設置

